

海外安全対策情報（平成30年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の2017年の殺人件数は379件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。2017年クリチバ大都市圏での殺人件数は900件、10万人あたりに換算すると27.4件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（10万人あたり10件）の約3倍。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ATM爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。

（2）パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加傾向にある。

3 犯罪事例（1月～3月）

（1）1月9日（水）早朝、クリチバ市ウベラバ地区セナドールサウガドフィーリョ大通りにあるブラジル銀行で、強盗団が地下で隣接している商業施設との壁をドリル等の工具を使い侵入を試みた。壁は4枚あり、3枚は突破したが4枚目の壁を破壊する際に強盗団の内の1人が壁の瓦礫の下敷きになった。強盗団は下敷きになった1人を置いて逃走した。5時半頃、消防隊員が到着したときには瓦礫の下敷きになった1人は死亡していた。警察は恐らく消防に通報したのは強盗団の誰かで、強盗団は最低でも4人はいたと見て捜査している。

（2）1月16日（水）午前4時頃、ロンドリーナ市南部で、25歳男性が殺害された。事件当時、25歳男性及びその家族が自宅で就寝していたとき、フード帽を被った4人の男性が侵入し被害者男性を探した。犯人は被害者に向け15発発砲し殺害した。この事件はロンドリーナ市で起こった2019年最初の殺人事件であった。

(3) 1月21日(月)11時20分頃、クリチバ市ボンヘチロ地区にあるピラル病院付近で、男性と13歳の少年が車に乗っていたところ、別の車で現れた男が、2人の乗車した車に向け突然発砲した。犯人は約10発の銃弾を撃ち込み逃走した。付近で見ていた目撃者の話によると、犯人が現れてから犯行後逃走するまでであったということ。被害者少年は頭と腹に被弾しており、一緒に乗車していた男性も被弾し、2人の状況はかなり深刻な状況となっている。警察の調べによると、被害者2人が親子であったかも現状では分からない。犯行手口から見て殺人目的の犯行と見て犯人の行方を追っている。

(4) 1月28日(月)早朝、パラナ州北部にあるバスターミナルの高速道路(BR158)への出口付近で、カンポモウラン市行きのバスを狙った強盗事件が発生した。当時、バスには26人の乗客が乗車しており、武装していた2人組の強盗犯が乗り込み運転手を脅し脇道へ入った。犯人は乗客から現金、携帯電話、その他金目の物を回収した。休憩していた交代要員の運転手が異変に気づき警察に通報していたため間もなく警察官が到着した。警察の存在に気付いた犯人は逃走し、警察官は逃走した犯人を追跡した。

(5) 1月29日(火)午後、クリチバ市カブラウ地区フンシオナリオ通りで、サンジョアン線のバスに乗車していた男がナイフを出し、他の乗客を脅し携帯電話等、金品を奪い運転手にバスを停車させ逃走した。

(6) 1月30日(水)6時20分頃、クリチバ市セミナリオ地区セッチデセテンブロ通りにあるカイシャ銀行で、警報が鳴ったため支店長は警察に通報した。軍警察が現場を確認したところATMがこじ開けられた形跡があったが何も取られていなかった。

(7) 2月5日(火)午後、クリチバ市カパオンダインブイア地区で、マシンガンで武装した3人組の男性が、パン屋に押し入り、金品を奪い逃走した。3人の内1人が外で待機しており、2人が店内で犯行に及んだ。犯人グループは店の前に駐車してあった車を盗み逃走した。その後約4時間後、同犯人グループは同様にスーパーマーケットに押し入り金品を奪い逃走した。

(8) 2月18日(月)16時頃、クリチバ市内ショッピングセンターミレーの宝石店から、武装した2人組が宝石を盗み、多数買い物客がいるショッピングセンター内を走り抜け逃走した。軍警察は直ちに追跡したが現在のところ犯人は見つかっていない。

(9) 3月11日(月)午後、クリチバ市内のショッピングセンターシダーデの宝石店から、武装した数名の強盗犯が宝石等を盗み逃走した。強盗犯が逃走する際、ショッピングセンターの出口付近で警備員と銃撃戦になったが、負傷者は無かった。警察の調べによると、犯行は約8分間で実行され、被害額は10万リアルになる。警察は2月18日にショッピングセンターミレーで発生した強盗事件と手口が類似しており、当時の実行犯2人組の内1人しか逮捕されていなかったため、同一犯の可能性もあるとみていたが、その後2件の事件の犯人が逮捕され、別の犯人による犯行であったことが判明した。宝石店のオーナーの話では、この宝石店での強盗は3度目で、過去の2度の被害品等は何も戻ってきていない、今回は戻るよう願っているとのこと。

(10) 3月16日11時頃、クリチバ市内の市営市場(メルカドムニシパル)横製菓材料店内で、邦人男性が窃盗被害に遭った。被害者男性は妻子と3人で同製菓材料店店内にて買い物をしていたところ、一人の女性客が棚の上の商品を指さし「届かないので取ってもらえませんか」と尋ねてきたため商品を取ってあげた。女性客は礼を言ってその場を立ち去ったが、その後、被害者男性はズボンの後ろポケットに入れていた財布が無くなっていることに気付いた。後日財布は見つかったが、中の現金200リアルは無かった。